

かにえだより



看護・介護 スタッフ募集中

病院・老健では
看護、介護スタッフを募集しています。
私たちと一緒に働きましょう！

採用サイト



インスタグラム



目次

- 01 新年のご挨拶
- 02 近隣中学校 職場体験レポート
- 03 リハビリ情報 | 握力は健康のバロメーター
- 04 栄養通信 | お正月で疲れた胃腸を休めましょう
- 05 TOPICS | BLS研修・防災訓練・認知症／ACP研修
- 06 老健かにえ | 冬の歳時記
- 07 外来担当医表／お知らせ



ご自由
にお持ち帰り下さい

新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

2025年には団塊の世代が75歳以上の高齢者となり、その人口は2,100万人を越えて国民の6人に1人以上の人口比になりました。さらに2040年に向けて高齢者の割合がピークを迎えます。「地域包括ケアシステム」は、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けるために、医療、介護、生活支援が一体となって提供される支援体制です。

医療法人瑞頌会は、尾張温泉かにえ病院と介護老人保健施設かにえ・居宅介護支援事業所かにえを中心とする在宅療養総合支援センターが緊密に連携し、「治し支える医療と介護」を総合的に提供します。

尾張温泉かにえ病院は急性期治療を終えた患者さまを受け入れ、地域包括ケア病棟と回復期リハビリテーション病棟で、さらに治療とリハビリテーションを行い、在宅復帰を目指していただきます。引き続き医療ケア、リハビリテーションと日常生活支援が必要な方は老健かにえに入所していただき、自立支援をサポートします。かにえ病院退院と老健かにえ退所後は外来診療、訪問診療、訪問看護、通所・訪問リハビリテーションが連携して、自立した生活を送れるように切れ目のない在宅療養を支援します。病状の急変した時、日常生活動作の低下した時、レスパイトが必要な時から看取りまで、療養者様一人ひとりの状況に寄り添いながら、循環したきめ細やかな支援を行っていきます。

医療法人瑞頌会は、「地域包括ケアシステム」の一員として地域の皆様に信頼され、安心してご利用しやすい地域完結型の医療と介護を提供できるように、職員一同、誠心誠意努めてまいります。

医療法人 瑞頌会
理事長 真野 寿雄

新年あけましておめでとうございます。

昨年11月ごろよりインフルエンザが猛威を振るっています。新型コロナは、軽症化しましたが、まだ季節に関係なく、流行を繰り返しております。

また10月に高市総理が誕生し、積極財政を打ち出して、経済への好影響が期待されております。12月にはマイナ保険証に移行しております。

尾張温泉かにえ病院は、皆様のご理解とご協力に支えられ、一年を通じて医療の質の向上に努めることができました。心より感謝申し上げます。

本年も、患者様一人ひとりの健康と安心を第一に考え、より良い医療サービスを提供できるよう、職員一同努力を続けてまいります。医療は日々進歩し、社会も大きな変化を迎えておりますが、私たちはその変化に柔軟に対応しながら、地域の皆様に信頼される病院であり続けたいと願っております。

また、地域住民の皆さまにとっても健康づくりや介護予防の拠点となれるよう、講座や相談会を通じて交流を深め、共に歩む姿勢を忘れず活動してまいります。病院は治療の場であると同時に、地域と共に未来をつくる仲間でありたいと願っております。

新しい一年が、皆様にとりまして穏やかで健やかな日々となりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

尾張温泉かにえ病院
院長 落合 淳



未来への一步を応援

職場体験

レポート

近隣中学校の職場体験を受け入れました。

当院では例年、地域の中学生を対象とした職場体験学習を受け入れています。2025年11月には、近隣2校から計6名の生徒が参加。看護部主導のもと、当院の地域における役割、そして患者さんのその人らしい暮らしを支える仕事の意義などを伝えるプログラムを実施しました。

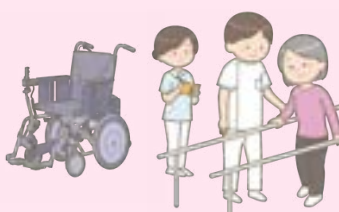
主な学習・体験内容

病棟



血圧測定やシーツ交換といった業務を見学・体験。喀痰吸引の疑似体験も実施。

リハビリ室



車椅子、松葉杖、歩行器などの補助具、リハビリ訓練などを見学・体験。

各部門見学



外来、入退院支援室、診療技術部など、病院全体を支える多職種の役割を見学。

担当看護師インタビュー

今回の職場体験を担当した看護師に、参加した学生の様子や、プログラムを通じて得られた気づきについて聞きました。



プログラムを通じて届いたメッセージ。「チームの力」の重要性。

Q 学生の学びや気づきのなかで、最も印象的だったのはどのようなことでしたか？

A 「チーム連携の重要性」に気づいてくれたことです。意欲的な学生は熱心に、各部署の専門職の役割を観察してくれました。体験後の振り返り会では、ある学生が「病院はみんながチームで動いている」と感想を述べたことに感動しました。看護師や医師といった医療職だけでなく、患者さんやご家族を含めて初めて「チーム」になるという思いが、彼らに強く伝わり、働く意義や協力し合う大切さを理解してくれたと感じました。

Q そんな「チームの担い手」を将来に見据えた学生に、どんなメッセージを送りましたか？

A 当院の医師から、学生に重要なメッセージが送られました。それは、「常に疑問を持つこと」の大切さです。医師は、「当たり前」を疑い、「なぜそうなるのか」という疑問を持つ姿勢が、感性や五感を養い、物事を深く理解し、社会人としての成長につながると強調しました。この体験で感じた、他者への想像力や、チームで協力する心を、今後の進路や学校生活でぜひ活かしてほしいと願っています。

握力は健康のバロメーター

普段、ご自身の「握力」を意識することはありますか？握力とは物を握る時の手の力のことを指しますが、握力の強さが全身の筋力、体力の指標としても用いられています。近年は様々な研究から、将来的な病気のリスクや「健康寿命」とも深く関わってきていると分かりました。握力の低下が将来的な認知機能低下の徴候であったり、要介護状態になるリスクが高まると言われています。

？ 高齢者の握力測定はなぜ必要なのか

握力は医療や介護の現場においても測定します。特に高齢者の握力測定は、ただ身体能力を評価するだけでなく、全身の筋力の低下が著しい虚弱高齢者である「サルコペニア」の評価の一つに用いられます。男性では28kg以下、女性では18kg以下の握力でサルコペニアの可能性があるとされています。

年齢	男性平均	女性平均	年齢	男性平均	女性平均
20～24	44.11kg	26.84kg	50～54	44.31kg	27.05kg
25～29	45.60kg	27.66kg	55～59	43.41kg	26.08kg
30～34	45.67kg	27.78kg	60～64	41.94kg	26.08kg
35～39	46.28kg	28.13kg	70～74	37.50kg	25.08kg
40～44	45.78kg	28.16kg	75～79	35.07kg	22.80kg
45～49	45.30kg	27.84kg	令和5年度体力・運動能力調査結果の概要及び報告書について スポーツ庁 より引用		

握力を鍛える簡単な運動

今回はゴムボールを使った簡単な運動をご紹介します。握力は、**握りつぶす力（クラッシュ力）**、**摘まむ力（ピンチ力）**、**握り続ける力（ホールド力）**に分けることができます。ゴムボールを手全体でしっかりと繰り返し握ることで、握りつぶす力が鍛えられます。また動作②の時に握る時間を長めに保つと握り続ける力に繋がります。手軽に始められる運動ですのでお試しください。

左右それぞれ **10～15回** を目安に行います

1



手のひら全体でボールを包み込むように持ちます

2



3秒かけてゆっくりと強く握り込み、握った状態で3秒キープします

3



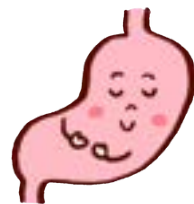
ゆっくりと力を抜きます

呼吸は止めずに
行いましょう





お正月で疲れた胃腸を 休めましょう！



年末年始はクリスマスやお正月などイベントが続き、美味しいご馳走を食べる機会が多くなる時期です。しかし、暴飲暴食が続くと胃腸が疲れてしまいます。今回は、お正月明けの疲れた胃腸の回復におすすめの「七草粥」についてご紹介します。

七草粥って何？

七草粥の七草は、「セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ」の7種類で、この七草をお粥にして1月7日に食べる習慣は江戸時代に広まったそうです。

七草は、早春にいち早く芽吹くことから邪気を払うと言われ、七草粥は無病息災を祈って食べられていました。七草にはミネラルやビタミンが多く含まれており、お粥にして食べることで疲れた胃腸の回復にぴったりです。



- ① セリ
- ② ナズナ

- ③ ゴギョウ
- ④ ハコベラ

- ⑤ ホトケノザ

- ⑥ スズナ
- ⑦ スズシロ

鉄分、食物繊維が多く含まれています。
別名はぺんぺん草です。熱を下げたり、利尿作用があるといわれています。
咳を鎮める効果があるといわれています。
タンパク質が比較的多く含まれており、古くから薬草として親しまれています。
抗酸化物質が含まれており、筋肉痛などに効果があるといわれています。
かぶのことで、消化を助けてくれます。
大根のことで、消化を助けてくれます。

RECIPE

七草粥を作ってみよう！

材料

ごはん 150g 七草
水 500ml 塩 少々

作り方

- ① 鍋にお湯を沸かし、塩・七草を入れて2分ほど茹でる。ザルに上げ、湯切りし、水気を絞る。
- ② 七草をそれぞれ1cm幅に切る。(スズナは半分に切って薄切り、スズシロは薄い輪切りにする。)
- ③ 同じ鍋にごはん、水を入れて、中火で煮立たせる。
- ④ 煮立ったら弱火にして、かき混ぜながら5分ほど煮る。②を入れてひと煮たちさせたら塩を入れ、混ぜ合わせて火からおろす。
- ⑤ 器に盛り付けて完成。



BLS研修を実施しました。

11月に職員を対象としたBLS（Basic Life Support：一次救命処置）研修を実施しました。今回もまた急性期病院のBLSインストラクターを講師としてお招きし、救命処置の知識とスキルを学びました。

BLSとは、心臓が止まったり、呼吸が困難になったりした人を救うための、最も基本となる救命技術です。研修では、胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸といった心肺蘇生法（CPR）に加え、AED（自動体外式除細動器）の正しい使い方や、食べ物が詰まった時の窒息解除方法まで、幅広い知識とスキルを徹底的に実践練習しました。

講師の指導のもと、緊急時にも迅速に対応できるよう、緊張感のある環境での訓練となりました。



消防訓練を実施しました。



病床を有する医療機関や介護老人保健施設など、特定の施設では、消防法により年2回以上の訓練実施が義務付けられています。

この義務に基づき、先日、当医療法人が運営する老健にて全職員参加のもと消防訓練を実施いたしました。

今回の訓練では、火災発生を想定し、通報訓練（119番通報の手順確認）、避難誘導訓練（安全な避難誘導の実践）、水消火器を用いた初期消火訓練の3つに集中的に取り組みました。

参加した職員は、緊急時の適切な役割と連携を再認識し、有事への対応能力向上を図りました。

「認知症ケア・ACP」研修を実施。

12月に、全職員を対象とした「認知症ケアとACP（※）」に関する研修を実施しました。入院中の療養生活や、退院後の生活の質（QOL）向上を支える上で、認知症を抱える方への理解と、ACPの知見・重要性を改めて共有しました。この研修の成果を活かし、多職種連携を強化することで、質の高いチーム医療の提供に努めてまいります。



※ACP (Advance Care Planning)：将来の変化に備え、本人・家族・医療者が、将来の医療及びケア、望む生活や価値観などについて繰り返し話し合いを行う取り組みのこと。愛称は「人生会議」。

冬至の風習として、今年もゆず湯を実施しました！湯気とともに立ち昇る香りは、心身のリラックスと血行促進を促します。あたたかな冬のひとときです。

老 健 かに え

写真で綴る



冬の歳時記

花餅づくり



紅白の花が咲いたような「花餅」は、和気あいあいとした共同作業の力作です。会話も弾み、楽しい新年の準備となりました。



クリスマス

作品紹介



外来診療担当医表

		月	火	水	木	金
午前	受付時間：8：00～11：30（診療時間：9：00～12：00）					
	内科1	落合院長 内科 脳神経内科	伊藤 内科 脳神経内科	落合院長 内科 脳神経内科	落合院長 内科 脳神経内科 (頭痛外来)	落合院長 内科 脳神経内科 (物忘れ外来)
	内科2	太田 循環器内科	中尾 呼吸器内科	真野 内科 糖尿病内科 内分泌内科	清瀬 糖尿病内科	伊藤 内科 脳神経内科
	整形外科	坂野副院長	杉本	坂野副院長	上見	坂野副院長
午後	受付時間：16：00～18：30（診療時間：17：00～19：00）					
	内科1	太田 循環器内科	—	田口 内科 リウマチ科	—	医師 内科・脳神経内科 (交代制)
	整形外科	医師 (交代制)	医師 (交代制)	坂野副院長	—	—

- ・木曜日午後・土曜日・日曜日・祝日は休診となります。
- ・介護保険でのリハビリ（通所リハ）も行っていますが、医療保険のリハビリとの併用はできません。
- ・ご不明な点についてはお気軽にお問合せください。



INFORMATION

健診センター

特定健診・協会けんぽ健診、企業健診など各種健診を行っています。
ご予約についてはお電話または受付窓口までお気軽にお問い合わせください。

☎ 0567(96)2000(代表)

介護老人保健施設かにえ

入所サービスと短期入所（一時的にご利用いただくサービス）・デイケア・訪問リハもごさいます。
お電話または受付窓口で、お気軽にご相談ください。

☎ 0567(96)7001(代表)

居宅介護支援事業所かにえ

ケアマネージャーが心身の状況や生活環境、本人、家族の希望に沿ってケアプランの作成やサービス調整を行います。お気軽にご相談ください。

☎ 0567(96)7009(直通)

